

## 令和3年度 第2回甲賀市文化のまちづくり審議会 次第

日時 令和4年（2022年）3月25日（金）

18:00～20:00

場所 碧水ホール会議室

出席者 委員 今西委員、山之内委員、福井副会長、清水委員、瀬古委員、  
大野会長、杉田委員、早川委員  
以上9名  
事務局 教育委員会事務局 田村次長  
社会教育スポーツ課 岡崎参事、上村課長補佐 藤田主査

### 1. 開会

会長あいさつ

### 2. 協議事項

会長の議事進行により説明

#### ①今年度の文化事業、文化施設の活動経過

【資料1】新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の経過について（文化芸術関係）

令和2年の、新型コロナウイルスが初めて感染拡大したときから記録していた経過を説明。

令和3年度は、蔓延防止措置の期間があり、利用時間が20:00まで、ホール利用は20:00に開催を終了し、21:00までに撤収することとなった。また、練習室の利用は制限することとなった。

12月1日から、収容率50%以下を維持しながらも、ホール客席の間隔は自由とした。結果として、ほとんどの催しは、間隔を空けて開催された。

【資料2】文化事業実績（各種チラシ含む）

令和3年度の主催、共催事業について説明。

年間を通じて、収容率50%以下で実施。

18事業のうち、延期2事業、中止1事業、開催方法を有観客ライブ配信から無観客ライブ配信へ変更したのが2事業。

入場者数6,452人（昨年度3,424人）

ライブ配信視聴者数458人（昨年度562人）

リスクが少ない内容の事業を選ぶため、ステージ関係では、声を出さないコンサートが多い。

昨年度の実施を見送っていた「観よう、やろう高校演劇」（ワークショップと発表会）に取り組むことができた。

### 【資料3】文化協会連合会加盟団体数（平成29年度～令和3年度）

文化協会連合会加盟団体数が減ってきているため、平成29年度までさかのぼり調べた結果、平成29年度が191団体ともっとも多く、令和元年度に一時的に団体数が増えたが、その後は減少傾向にある。令和4年度は、平成29年度より44団体減っている。

団体数減少の要因は、コロナにより日々の活動ができないため退会されている場合もあるが、各団体の高齢化も大きい。

### 【資料4】図書館来館者数、貸出冊数

市内図書館5館の来館者数、貸出冊数は、過去3年間を比較している。令和2年度は、コロナの影響で、令和元年度に比べ、来館者数は66.2%に減少、貸出冊数は83.1%に減少したが、令和3年度は来館者数が90.1%、貸出冊数は95.4%まで回復している。

### 【資料5】文化のまちづくりフォーラム in 甲賀（11月23日開催）アンケート集計結果

参加者数は定員70名のところ、来場者43名、ライブ配信参加者が53名で、合計96名あった。

参加者の年齢層は、20代までがなし。30代が1名、40代が3名、50代が4名、60代が8名、70代が14名、80歳以上が5名、無回答が2名。

アンケートの回答者は37名あった。

設問「文化と芸術に関する条例について、甲賀市にも必要と思いましたか」に対し、「必要と思った」が27名、「いらなと思った」が1名、「わからない」が6名、「無回答」が3名あった。

## 質疑

### 委員

ライブ配信は、わたしの関わる事業でも取り組みたいと考えているが、何がよいかわからない。Zoom（ズーム）は、無料会員の場合時間制限があるし、YouTubeで行う場合は、カメラやその他機材が必要であったりする。

### 事務局

いろいろな方法があり、Zoomよりやや長いmeetなどアプリが多数出ている。市民ホールの事業では、一方方向のライブ配信で行っており、YouTubeで行っている。機材は、舞台技術の契約業者に持ち込んでもらっている。通信の回線はその都度契約しているが、ライブ配信の件数が増えてきたので、年間契約に切り替えを行いたいと考えている。

配信映像のスペックを問わない場合は、一番簡単にできるのは、スマホに専用アプリを入れて配信する方法となる。

### 委員

美術館ではない場所でアートを展示する試みは、櫛野寺でのアール・ブリュットの展示をされたが、アール・ブリュットだけでなく、ほかのアートも取り組めないか。

### 事務局

決まったところではなく、日常の中でアートにふれることができる機会は、今後も必要と考えている。

委員

通りすがりで足をとめたくくなるようなアート体験があるとよい。

委員

アール・ブリュットの事業では、草津線の各駅に展示する「駅アート」を行うほか、市内の各事業所に展示していただく「レンタル・アート」もあった。

委員

長浜では、古民家を改築したスペースがある。

委員

信楽では、陶芸のお店の倉庫を活用したスペースもある。

委員

文化協会の団体数減少は、コロナの影響は、高齢化もあると思うが、協会に加盟するメリットとして、どういうことがあるのかも大事に思う。

## ②文化芸術に関する条例の制定に向けて協議

会長

文化のまちづくりフォーラムに、パネラーとしても参加した。催しの内容としては充実したものであったが、参加者の年齢層が高齢者に偏っていた。次に実施して、中身の充実したものであったとしても、また同じ客層になりそうな気がする。

それよりも、これからの未来の子どもたちが参加し、意見を述べ、聞いたりできる機会があるとよい。

委員

条例ができることで、広報が充実できるとよい。今は、自主活動の広報がむずかしい。ポスターもなかなか貼ってもらえない。

委員

公民館などの公共機関にはチラシが配られていると思うが、なかなかそういうところに行かない人もいる。地域の集会所のようなところにも配られているとよいかもしれない。

委員

甲賀市のLINEがあるが、あれで文化関係の広報はできないのだろうか。また、文化に限らず、お出かけ情報などが配信されるとよい。

事務局

市のホームページやフェイスブックにはガイドラインがあるが、LINEはどのような取り扱いになっているのか、事務局から確認する。

委員

来年度については、どれくらい審議会を計画するのか。

事務局

年間4回の審議会を計画している。今年度より回数は増えることになるが、ご協力いただきたい。

委員

一言一句を考えるには、審議会の場だけではできないと思う。

事務局

審議委員のみなさまには、方向性など大きな視点でご協議いただき、それらをまとめて事務局が文章化していくとお考えいただきたい。

閉会あいさつ 副会長

閉会